

平成 22 年度に感染症発生 動向調査から検出されたウイルス

齋藤美香 塚越博之 小林美保 横田陽子

Viral Agents Surveillance Report in Gunma Prefecture from April, 2010 to March, 2011.

Mika SAITOH, Hiroyuki TSUKAGOSHI, Miho KOBAYASHI, Yoko YOKOTA

1. はじめに

感染症発生動向調査事業に係わる病原体検査は、感染症法において病原体の動向を短期的及び中長期的に把握することを主眼としている。当事業は、速い速度で変化する病原体情報を正確に把握・解析し、医療機関等関係機関への情報還元が主体となっている。以下、本稿では平成 22 年度(平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月)に病原体検査定点を受診した患者の検体から分離・検出されたウイルスについて概要を報告する。

2. 材料及び方法

定点となっている医療機関に受診したウイルス性疾患(疑いを含む)患者から得られた咽頭ぬぐい液、結膜ぬぐい液、糞便、髄液等を材料とした。ウイルス分離・同定及び PCR 法を主体とした遺伝子検査は定法に従った¹⁾。

3. 結果

初診時臨床診断別月別検査件数を表 1、臨床診断別月別ウイルス検出数を表 2、臨床診断別ウイルス検出数を表 3 に示した。今年度の検査件数は 223 件、検出数は 144 株、検出率は 64.6%であった。以下、表 1 の上位 3 疾患について概要をまとめた。

3.1. インフルエンザ

インフルエンザの検査件数は 74 件、検出数は 64 株、検出率は 86.5%であった。内訳は、AH1 亜型(AH1pdm2009)が 19 株、AH3 亜型が 41 株、B 型が 4 株であり、AH3 亜型が最も多く検出された。冬季の AH1pdm2009 の検出数は平成 22 年 1 月がピークとなり、2 月まで検出された。また、AH3 亜型の検出数のピークは AH1pdm2009 と同様であり、検出数が 20 株と最も多く 3 月まで検出された。B 型は平成 21 年 11 月から平成 22 年 1 月にかけて各 1 株検出された。全国のインフルエンザウイルス分離・検出報告²⁾について各月の状況では、AH1pdm2009 が 12 月から 1 月にかけて、また AH3 亜型では AH1pdm2009 の前後に検出報告数が多かった。さらに B 型は平成 21 年冬季では報告数が極めて少ない状況であった。以上から、本県のインフルエンザの流行は AH1pdm2009 と AH3 亜型を主とした B 型を含めた 3 種混合であり、全国とは少し異なった流行であったと考えられる。

3.2. 流行性角結膜炎

流行性角結膜炎の検査件数は 36 件、検出数は 27 株、検出率は 75.0%であり、検出率が昨年度よりも高かった。最も多く検出されたのはアデノウイルス 37 型の 17 株であり、他には 3 型、5 型、8 型が検出された。全国の流行性角結膜炎患者からのウイルス検出状況²⁾では、本県と同様に 37 型が主流であった。

3.3. 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の検査件数は36件、検出数は21株、検出率は58.3%となり、検出率が昨年度よりも少なかった。多く検出されたのは、ノロウイルスGII型とA群ロタウイルスともに6株であった。さらにサポウイルスが3株、アデノウイルス1・2・5・41型、コクサッキーウイルスA群9型、ポリオウイルス2型が各1株であった。

Diagnostic Virology. In Diagnostic Procedure for Viral, Rickettsial And Chlamidial Infections, 6th eds. American Public Health Association INC, Washington, 51-218, 1989.

- 2) 国立感染症研究所感染症情報センター、病原微生物検出情報 (<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)

謝 辞

本調査にあたり、御協力を頂いた関係医療機関の方々に深謝いたします。

文 献

- 1) Schmidt NJ: Cell Culture Procedures for

表 1 平成 22 年度初診時臨床診断別月別検査件数

疾患名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ		4					7	4	10	38	9	2	74
流行性角結膜炎	3	4	2	2	4	4	3	3	5	1	3	2	36
感染性胃腸炎	6	5	2			1	7	5	5	4	1		36
手足口病		7	15	4	2		1						29
ヘルパンギーナ		1	1	4		1		1					8
無菌性髄膜炎	1			2	1	2		1					7
流行性耳下腺炎	2	1										1	4
咽頭結膜熱					1	2							3
脳炎・脳症			1		1								2
その他	1	5	1	1		1	1	4	3	1	4	2	24
合計	13	27	22	13	9	11	19	18	23	44	17	7	223

表 2 平成 22 年度初診時臨床診断月別ウイルス検出数

ウイルス名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アデノ 1		3	1										4
2		3				1		1					5
3									2	1		1	4
5		1	1			1				1			4
8		1			2	2						1	6
37	2	3	1	1	3	3	2	3					18
41							1	1					2
コクサッキー A2				1									1
A9								1					1
A10				1									1
エコー 11								1					1
エンテロ 71		2	4	2	1								9
ポリオ 2								1					1
ムンプス				1		1							2
インフルエンザ AH1pdm2009							5	2	1	10	1		19
AH3		2					2	2	8	20	5	2	41
B		1						1	1	1			4
パラインフルエンザ							1						1
ノロ G		1					3		1		1		6
サボ	1	1	1										3
ロタ A	3	2								1	3	2	11
合計	6	20	8	6	6	8	14	13	13	34	10	6	144

表 3 平成 22 年度初診時臨床診断別ウイルス検出数

ウイルス名	インフル エンザ	流行性 角結膜炎	感染性 胃腸炎	手足口病	ヘルパン ギーナ	無菌性 髄膜炎	流行性 耳下腺炎	咽頭 結膜熱	脳炎・脳症	その他	合計
アデノ 1			1	1						2	4
2			1	1						3	5
3		4									4
5		1	1		1					1	4
8		5								1	6
37		17						1			18
41			1							1	2
コクサッキー A2					1						1
A9			1								1
A10					1						1
エコー 11										1	1
エンテロ 71				8	1						9
ポリオ 2			1								1
ムンプス						2					2
インフルエンザ AH1pdm2009	17									2	19
AH3	40									1	41
B	3									1	4
パラインフルエンザ				1							1
ノロ G			6								6
サボ			3								3
ロタ A			6							5	11
合計	60	27	21	11	4	2	0	1	0	18	144